

健康事業団だより

令和5年2月第36号

国内初!

航空機にグリーンリボンを掲出

少し前になりますが、10月の臓器移植普及推進月間の取り組みについてご報告します。

毎年10月は「臓器移植普及推進月間」で、移植医療の理解と意思表示の拡大を目指した普及啓発活動が全国で行われています。

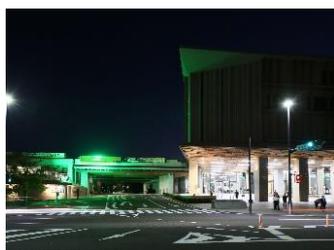
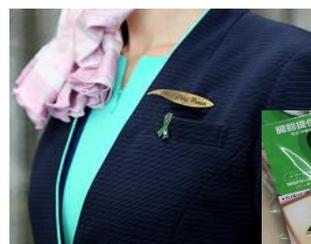
長崎県では、オリエンタルエアブリッジ株式会社様のご協力をいただき、航空機に、移植医療のシンボルであるグリーンリボンとグリーンリボンキャンペーンの天使「ハーティ」を10月6日から1か月間掲出しました。

掲出にあたり、10月6日には長崎空港内のオリエンタルエアブリッジ(ORC)格納庫において、掲出機体の出発式を開催し、機内アナウンスや乗客の皆様へ普及啓発物品を配布いただきました。掲出期間中は機長や客室乗務員にグリーンリボンバッジを着用していただきました。なお、航空機への掲出は、国内初の取り組みです。

また、関係機関のご協力をいただき、長崎県庁や長崎市稲佐山電波塔、大村市内などを臓器移植普及推進のシンボルカラーであるグリーン色にライトアップしました。



長崎市出身の女優 塩田みうさん



長崎県庁



長崎市稲佐山電波塔



長崎市みなとメディカルセンター



大村市玖島城

「ベストドナーアクションプログラムアワード」を受賞

第58回日本移植学会総会にて、長崎県臓器移植コーディネーターの竹田(長崎県健康事業団)が「岩城賞 ベストドナーアクションプログラムアワード」を受賞しました。

「ベストドナーアクションプログラムアワード」とは、よりよい終末期医療を提供するために医療施設ごとに人的・構造的課題を抽出し、改善へと導く方法論として開発された「ドナーアクションプログラム」に最も積極的に取り組んだ団体に表彰されます。



ブレスト・アウェアネス



『ブレスト・アウェアネス』をご存知でしょうか？

『ブレスト・アウェアネス』とは、ご自分の乳房の状態に日頃から関心を持ち、『乳房を意識した生活』を送ることで、

具体的に、日頃の生活の中で次の4つを行きましょう。



point
1

自分の乳房の状態を知るため、乳房のセルフチェックを

乳がんは自分で発見できる数少ないがんです。

早期発見のため、月1回のセルフチェックを習慣づけましょう。

月経終了後4~5日後くらいに、閉経後の人は毎月、日にちを決めて行いましょう。



point
2

乳房の変化に気を付ける

- 乳房のしこり
- 乳頭から黒い赤色や褐色の異常分泌
- 乳頭や乳輪の皮膚のただれやびらん
- 皮膚のへこみや引きつれ
- 乳房の痛み

しこりがある・・・



point
3

乳房の変化を自覚したら、すぐに医療機関へ行く

しこりや痛みなどの変化に気付いたら、次の検診を待つことなく病院やクリニックなどの医療機関を受診しましょう。



point
4

40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける

40歳以降は、2年に1回、定期的に乳がん検診を受けましょう。

検診では、まだ自覚症状として現れない、小さながんを発見することが可能です。

また『要精密検査』の結果なら、必ず精密検査を受けましょう。

がん検診の実施内容についてはお住いの市町にお尋ねください。



＼ CT検診も請け賜ります ／



公益財団法人 長崎県健康事業団

〒859-0401 諫早市多良見町化屋 986-3

TEL 0957-43-7131 (代表) FAX 0957-43-7139

<http://www.npmhc.jp>